

シラバス詳細

タイトル「2023年度」、カテゴリ「教養教育科目」

和文・英文ボタンを押すことで、和文↔英文の切り替えができます。

和文 英文

医学部のシラバスはこちらから。
医学系研究科博士課程のシラバスはこちらから。

科目情報

コースナンバリング

1-783X000

科目名

近代サッカーの成立と進歩

開講学期

後期

開講時期

3クォータ

曜日・校時

水 3

単位数

< BACK

講義情報

学士力番号

1 (1)

曜/限追記

水曜日3限目

講義形式

講義・演習

講義概要

この授業科目は、単にサッカーをする授業ではない。近代サッカーの理論を講義から理解すると共に、その理論を基とした技術・戦術の理解と体得を目指す科目である。

開講意図

近年、大きく発展したサッカーの理論を元にした技術・戦術を体得してもらうために、毎回の授業では近代サッカーの理論について理解すると共に、演習として学んだ技術・戦術をゲーム等の中で表現してもらう。

到達目標

- ①近代サッカーの技術・戦術を理解する
- ②近代サッカーの技術・戦術をゲーム内で体現する

履修上の注意

サッカーの練習・試合に必要な個人用具（シューズ、ストッキング、すね当て等）は各自で準備すること

授業計画

回	内容	<p style="text-align: right;">授業以外の学習 </p> <p style="text-align: right; color: red;">本科目は、単位数×45時間の学修が必要な内容で構成されています。授業として実施する学修の他に、授業の内容を深めるために以下の事前・事後学修が必要です。</p>
1	1. サッカーの成り立ち	講義内容の復習
2	2. サッカー用語の歴史と理解	講義内容の復習
3	3. ボールを用いたウォーミングアップの理論と実践	講義内容の復習
4	4. 近代サッカーのシステム	講義内容の復習
5	5. 近代サッカーの個人戦術	講義内容の復習と反復学習
6	6. 近代サッカーのチーム戦術（攻撃）	講義内容の復習と反復学習
7	7. 近代サッカーのチーム戦術（攻撃）	講義内容の復習と反復学習
8	8. 近代サッカーのチーム戦術（守備）	講義内容の復習と反復学習
9	9. 近代サッカーのチーム戦術（守備）	講義内容の復習と反復学習
10	10. スモールゲームを用いた基本戦術・基本スキルの獲得	講義内容の復習と反復学習
11	11. スモールゲームを用いた基本戦術・基本スキルの獲得	講義内容の復習と反復学習
12	12. スモールゲームを用いた基本戦術・基本スキルの獲得	講義内容の復習と反復学習
13	13. ゲームにおける戦術とフォーメーションの理論と実践	講義内容の復習と反復学習
14	14. ゲームにおける戦術とフォーメーションの理論と実践	講義内容の復習と反復学習
15	15. ゲームにおける戦術とフォーメーションの理論と実践	講義内容の復習と反復学習

試験問題及び評価方法

開示方法

試験問題及び評価方法については講義中に伝える。

教科書

資料名		版
著者名	発行所名・発行者名	出版年
備考（巻冊：上下等）		ISBN
参考資料等については授業中必要に応じて教員が伝える。		

オフィスアワー

金曜日2限目

アクティブラーニング導入状況

アクティブラーニング導入状況				
カテゴリ4	カテゴリ3	カテゴリ2	カテゴリ1	カテゴリ0
<p>学生が自ら主体となって、学習の方向性を定め、問題解決に導くための時間です。PROBLEM BASED LEARNING</p>	<p>グループや個人で行った能動的学習の成果を、教室内外で発表し、その評価を受けたり、質問に対応したりすることにより、学修した内容を深化させるための時間です。OUTPUT</p>	<p>学生自らが自由に発言し、グループやペアでの協働活動により課題に取り組み、何らかの帰結に到達するための能動的学習の時間です。INTERACTION</p>	<p>学生からの自由な発言機会はないものの、授業時間中に得られた知識や技能を自ら運用して、問題を解いたり、課題に取り組んだり、授業の振り返りをしたりする能動的学習を行う時間です。ACTION</p>	<p>基本的に学生は着席のまま、講義を聞き、ノートを取り、知識や技能を習得に努める時間です。INPUT</p>
10	10	50	20	10

大学公認球（空気圧も競技レベル）を使用するためサッカーシューズ着用を推奨する。



理工学部の技術者教育(JABEE)プログラムでは、「人類のさまざまな文化や社会に関する知識を基に、多面的に物事を考える」能力を養成するために、下記の学習・教育到達目標を掲げています。基本教養科目（文化の分野）の修得により、下記の学習・教育到達目標が達成されます。

（機械システム工学科）学習・教育到達目標(7-1)

（電気電子工学科 [2023 年度卒業生まで]）学習・教育到達目標(D1)

（理工学科機械エネルギー工学コース）学習・教育到達目標(7-1)

（理工学科メカニカルデザインコース）学習・教育到達目標(7-1)



BACK